

チリから日本向けに輸出される偶蹄類の動物の肉及び臓器並びに
それらを原料とするソーセージ、ハム及びベーコンの家畜衛生条件（仮訳）

平成 8 年 11 月 7 日 8 動検甲第 1659 号

平成 12 年 9 月 29 日 12 動検甲第 1341 号（豚コレラ追加条件）

チリから日本向けに輸出される食肉等に適用される家畜衛生条件は、以下によることとする。

（定義）

本条件の適用において、以下の通り定義する。

「コード」

ＯＩＥが作成した国際動物衛生規約

「ＯＩＥ」

国際獣疫事務局

「牛肉等」

牛肉、牛臓器及びそれらを原料とする肉加工品。

「指定施設」

別添 1 の 1 から 4 の条件を充足できるものとしてチリ家畜衛生当局（又は別添 1 . 2 . ②においては第 3 清浄国）により指定された日本向け輸出食肉等を取り扱うためのと畜場、食肉加工処理施設及び保管施設等。

「日本向け牛肉等」

日本向けに輸出される牛肉等。

「日本向け食肉等」

日本向けに輸出される食肉等。

「日本向けめん・山羊肉等」

日本向けに輸出されるめん・山羊肉等。

「日本国家畜衛生当局」

日本国農林水産省畜産局衛生課

「食肉等」

偶蹄類の動物の肉及び臓器並びにそれらを原料とするソーセージ、ハム及びベーコン等の肉加工品。

「めん・山羊肉等」

めん・山羊肉、めん・山羊臓器及びそれらを原料とする肉加工品。

「第 3 清浄国」

日本国農林水産省が口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラについて清浄であると認定している別添 2 に掲げる国。

「TSE」

伝染性海綿状脳症

(一般条件)

- 1 チリにおいては、口蹄疫、牛疫、アフリカ豚コレラ、牛海綿状脳症（BSE）及びスクレイピーの発生がないこと。
- 2 チリにおいては、口蹄疫、牛疫、アフリカ豚コレラ及び豚コレラのワクチン接種が一切禁止されていること。また、これらの疾病のワクチン接種を受けた偶蹄類の動物の輸入が一切禁止されていること。

(日本向け食肉等の条件)

- 3 日本向け輸出食肉等は指定施設において生産、保管されたものであること。
- 4 日本向け食肉等を生産するために供することができる偶蹄類の動物は、チリにおいて出生し、かつ、チリにおいてのみ飼養されていたもの、又は、別添1の1の①から④の条件をすべて充足するものであること。
- 5 日本向け食肉等を生産するために用いられる肉等は、チリにおいて出生し、かつ、チリにおいてのみ飼養されていた動物由来のもの、又は、別添1の2の①から④の条件をすべて充足するものとする。
- 6 と殺用畜は、指定施設におけるチリ家畜衛生当局の獣医官によると殺前及びと殺後の検査において家畜の伝染性疾病のいかなる徴候も認められなかったものであること。
- 7 日本向け食肉等は、日本への船積みまでの間、家畜の伝染性疾病の病原体に汚染される恐れのない方法で取扱われ、かつ、その包装及びカートンボックス等の容器は清潔で衛生的なものであること。

(TSEに対する条件)

8

- 9 日本向けめん・山羊又はめん・山羊肉等の生産のため、スクレイピー発生国からチリにめん・山羊肉等が輸入される場合には、そのめん・山羊又はめん・山羊肉等が別添4を満たすことを追加証明する証明書が輸出国家畜衛生当局より得られたものであること。

(その他)

- 10 日本向け食肉等が第3国を経由して輸送される場合には、日本向け食肉等は、密閉式コンテナに収容され、かつ、当該コンテナは、チリ家畜衛生当局により封印されること。なお、封印様式については、事前に日本国家畜衛生当局の承認を受けたものであること。また、当該コンテナの日本国到着時の検査において、当該封印の脱落及び破損等がある場合には、当該日本向け食肉等の日本への持込みが禁止されることがある。
- 11 チリ家畜衛生当局は、チリにおいて口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラが発生した場合は、直ちに、日本向け食肉等の輸出を中止すること。輸送途中の日本向け食肉等については、当該疾病の発生との因果関係が明確に否定されるもの以外は、日本への持込みが禁止される。

12 口蹄疫、牛疫及びアフリカ豚コレラが第3清浄国に発生した場合には、チリ家畜衛生当局は当該発生国から偶蹄類の動物及び食肉等を取り扱っている指定施設からの日本向け食肉等の輸出を直ちに中止するとともに、当該輸入禁止措置について、日本国家畜衛生当局に公式に通報すること。輸送途中の日本向け食肉等については、当該疾病の発生との因果関係が明確に否定されるもの以外は、日本への持込みが禁止されることがある。

13 12の日本向け食肉等の輸出禁止の措置については、当該第3清浄国における当該疾病について日本国家畜衛生当局が清浄であると認めた場合又はチリ家畜衛生当局が当該第3清浄国からの偶蹄類の動物及び食肉等を当該指定施設へ搬入することを禁止し、その旨を日本国家畜衛生当局に通報した場合に解除することができる。

14 チリ家畜衛生当局は、チリにおける家畜伝染病（口蹄疫、牛疫、アフリカ豚コレラ、BSE、スクレイピーを含む。）の発生状況を月報等により定期的に日本国家畜衛生当局に通報すること。

（検査証明書の発行）

15 日本向け食肉等の輸出に当たって、チリ家畜衛生当局は、次の各事項を具体的に記載した英文による検査証明書を発行すること。

(1) 上記1、2、4～7の各事項（日本向け食肉等が第3清浄国からチリに輸入された偶蹄類の動物及び/又は食肉等から生産された場合には、当該第3清浄国名及び別添1の1及び/又は2の①～④に規定する各事項を含む。）

(2)

(3) 日本向けめん・山羊肉の場合には、9の事項。

(4) 指定施設の名称、所在地及び承認番号（処理・加工・保管等が同一指定施設で行われていない場合は、日本向け食肉等を取り扱ったすべての施設について記載すること。）

(5) 検査証明書の発行年月日、発行場所及び発行者氏名

(6) コンテナ等を封印した封印の番号（前記10の規定に基づく標識によりコンテナ等が封印されている場合。）

別添 1

指定施設の条件

1 指定施設において取り扱うことができる偶蹄類の動物は、チリにおいて出生し、飼養されていたもの、または、第3清浄国から直接チリに輸入される偶蹄類の動物であって、以下の①から④の条件をすべて充足するものであること。

① 第3清浄国において出生し、かつ、第3清浄国においてのみ飼養されていたものであること。

② 第3清浄国政府機関による輸出検査において、家畜の伝染性疾病のいかなる徴候も認められなかったものであること。

③ 第3清浄国政府機関発行の検査証明書が添付され、当該第3清浄国以外の国を経由することなく直接チリに輸入されたものであること。

④ チリ家畜衛生当局による輸入検査において、家畜の伝染性疾病のいかなる徴候も認められなかったものであること。

2 指定施設において取り扱うことができる食肉等には、チリにおいて出生し、飼養されていた偶蹄類の動物に由来するものであって、チリの指定施設のみにおいて取り扱われたもの、または、第3清浄国が

ら直接チリに輸入される食肉等であって、以下の①から④の条件をすべて充足するものであること。

- ① 第3 清浄国において出生し、かつ、第3 清浄国においてのみ飼養されていた偶蹄類の動物に由来するものであること。
- ② 第3 清浄国の指定において取り扱われ、第3 清浄国獣医官によると殺前及びと殺後の検査において、いかなる異常所見も認められなかった偶蹄類の動物に由来するものであること。
- ③ 第3 清浄国政府機関発行の検査証明書が添付され、当該第3 清浄国以外の国を経由することなく直接チリに輸入されたものであること。
- ④ チリ家畜衛生当局による輸入検査において、家畜の伝染性疾患のいかなる徴候も認められなかったものであり、かつ当該検査後、直接チリの指定施設に搬入されたものであること。

3 指定施設においては、取り扱われた偶蹄類の動物及び食肉等について、その種類、数量、生産地域及び取扱い年月日(第3 清浄国から輸入されたものを取り扱う場合にあっては、さらに輸入先国名を含む。)が記録原簿に記録され、当該記録原簿は、少なくとも2年間保管されていること。

4 チリ家畜衛生当局は、指定施設の名称、所在地及び指定番号を事前に日本国家畜衛生当局に通知すること。

5 チリ家畜衛生当局の獣医官は、指定施設に駐在又は定期的に巡回を行うことにより指定施設が1から3の条件を充足していることの確認を行うこと。指定施設が1から3の条件を充足していない場合にあっては、チリ家畜衛生当局は直ちに当該指定施設の指定を取り消すとともに当該指定施設名等を日本国家畜衛生当局に通知の上、当該指定施設からの日本向け食肉等の輸出を停止すること。

(日本国家畜防疫官による立入検査の実施)

6 日本国家畜防疫官は、指定施設の立入検査を実施し、記録原簿の提出を求めることができる。当該家畜防疫官は、当該家畜衛生条件に違反した事実を認めた場合は、日本向け食肉等の輸出を停止することができる。

別添 3

牛海綿状脳症（BSE）の条件

生体牛

- 1) 本病は届出伝染病であること、
- 2) 感染牛はと殺され、完全に処分されること、
- 3) 分娩間際の疑似雌牛は隔離されること、
- 4) OIEコード第3.2.13.1条に基づく、有効かつ継続的なサーベイランス及びモニタリング制度が実施されていること、
- 5) 輸出牛は反芻動物から生産された肉骨粉の反芻動物への給与の禁止が有効に実施された後に生まれたものであること、または、
反芻動物の肉骨粉が給与されなかったこと、及び
これまでにBSEが発生したことがない群で生まれ、肥育された牛で、同じ農場の牛又は同様の状況の群の牛のみを含む群由来であること、
- 6) 輸出牛は母牛及び生産群への追跡が可能となるような永続的な標識により個体識別されること。

牛肉

- 1) 肉を生産する牛は、上記生体牛の条件を満たすこと、
- 2) すべての牛についてと殺検査が行われること、
- 3) 脳、眼、脊髄、胸腺、脾臓及び回腸遠位部は、と殺及び処分時にすべての牛から取り除かれること、
- 4) カット処分工程で露出した神経組織及びリンパ組織は、取り除かれ処分されること。

別添 4

スクレイピーの条件

生体めん羊・山羊

輸出めん羊・山羊はこれまでにスクレイピーが発生したことがない群で生まれ、肥育されためん羊・山羊で、同じ農場のめん羊・山羊又は同様の状況の群のめん羊・山羊のみを含む群由来であること。

めん羊・山羊肉

輸出めん羊・山羊肉は、上記の条件を満たすめん羊・山羊から生産されること。

別添 5

豚肉等の家畜衛生条件への豚コレラに関する追加条件（仮訳）

- 1 日本向けに輸出される豚肉及び臓器並びにそれらを原料とする肉加工品（以下、「日本向け豚肉等」という。）については、以下の追加条件が適用される。
 - (1) チリにおいては、豚コレラの発生がないこと。
 - (2) チリにおいては、豚コレラのワクチン接種が禁止されていること。
 - (3) チリにおいては、豚コレラのワクチンが接種された豚の輸入が禁止されていること。
- 2 第3清浄国から輸入された豚又は豚の肉及び臓器並びにそれらを原料とする肉加工品（以下、「豚肉等」という。）が日本向け豚肉等の生産に使われる場合は、チリ政府機関は、第3国清浄国から輸入された豚又は豚肉等について(1)、(2)、(3)又は(4)を充足するものであることを証明すること。

- (1) 第3清浄国（地域）においては、豚コレラの発生がないこと。
- (2) 第3清浄国（地域）においては、豚コレラのワクチン接種が禁止されていること。
- (3) 第3清浄国（地域）においては、豚コレラのワクチンが接種された豚の輸入が禁止されていること。

又は

- (4) 日本向け輸出豚肉等の生産に使われる豚肉は、生前生後の検査の結果、豚コレラの疑いがなく、かつ、豚コレラワクチンの接種がされていない豚由来のものであり、第3清浄国において加熱処理等豚コレラのウイルスを殺滅する方法で処理が行われていること。

地域とは清浄国のうち豚コレラの発生が未だある及び/若しくは豚コレラワクチン接種を継続している国の一部のワクチン不接種清浄地域をいう。第3清浄国内における地域の認定は、日本家畜衛生当局が現地調査の上、実施する。

- 3 チリにおいて、豚コレラの発生があった場合、直ちに日本国家畜衛生当局に発生状況を通報すること。また、最終発生における必要な措置が完了し、終息後6ヶ月以上たった場合には、日本あて通知すること。

Animal health requirements for meat and viscera derived from cloven-hoofed animals and sausage, ham and bacon made from such meat and viscera as raw materials to be exported to Japan from Chile

Animal health requirements

Animal health requirements for the exported meat, etc. to Japan are as follows.

(Definitions)

For the purpose of these requirements:

“ Code ”

International Animal Health Code established by the OIE

“ OIE ”

Office International Des Epizooties

“ the cattle meat, etc. ”

meat and viscera from cattle and products made therefrom such as sausage, ham and bacon, etc.

“ the designated facilities ”

Slaughterhouses, meat-processing facilities and storage, etc. which are designated by the animal health authorities of Chile as the ones which meet the requirements in items from 1 to 4 in Annex 1. for handling the exported meat, etc. to Japan

“ the exported cattle meat, etc. to Japan ”

the cattle meat, etc. to be exported to Japan from Chile

“ the exported meat, etc. to Japan ”

the meat, etc. to be exported to Japan from Chile

“ the exported sheep/goat meat, etc. to Japan ”

the sheep/goat meat, etc. to be exported to Japan from Chile

“ the Japanese animal health authorities ”

Animal Health Division, Livestock Industry Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan

“ the meat, etc. ”

meat and viscera derived from cloven-hoofed animals and meat products made therefrom such as sausage, ham and bacon etc.

“ the sheep/goat meat, etc. ”

meat and viscera from sheep or goat and products made therefrom such as sausage, ham and bacon, etc.

“ the third free countries ”

Foot-and-mouth disease (FMD), Rinderpest and African swine fever (ASF) free Countries approved by the Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries of Japan listed in Annex 2

“ TSE ”

Transmissible Spongiform Encephalopathy

(General requirements)

- 1 Chile has been free from Foot-and-mouth disease (FMD), Rinderpest, African swine fever (ASF), Bovine Spongiform Encephalopathy (BSE) and Scrapie.
- 2 Vaccination against FMD, Rinderpest and ASF as well as importation of cloven-hoofed animals which have been vaccinated against any of these diseases are completely prohibited by laws of Chile.

(Requirements for the exported meat, etc. to Japan)

- 3 The exported meat, etc. to Japan shall be produced and stored in the designated facilities.
- 4 The cloven-hoofed animals which have been slaughtered for the production of the exported meat, etc. to Japan shall have been born and raised only in Chile, or shall have met all of the requirements in the items from ① to ④ in Annex 1.1.
- 5 The meat, etc. which have been used for the production of the exported meat, etc. to Japan shall have originated from the cloven-hoofed animals which have been born and raised only in Chile or shall have met all of the requirements in the items from ① to ④ in Annex 1.2., can also be used for the production of the exported meat, etc. to Japan.

6 The slaughtered animals shall have been free from any evidence of infectious diseases as a result of ante- and post-mortem inspections conducted by the government veterinarians of Chile at the designated facilities.

7 The exported meat, etc. to Japan shall be handled in such ways as to keep it from being contaminated with any causative agents of animal infectious diseases until the shipment. Clean and sanitary wrappings and/or containers such as card board boxes shall be used to pack the exported meat, etc. to Japan.

(Requirements for TSEs)

8

9 In case sheep/goat or sheep/goat meat, etc. are directly imported to Chile from countries with scrapie for the production of the exported sheep/goat meat, etc. to Japan, additional certification attesting that the said sheep/goat and/or the sheep/goat which were slaughtered for the production of the exported sheep/goat meat, etc. meet all the requirements in Annex 4., shall be obtained from the animal health authorities of the exporting country.

(Others)

10 In case the exported meat, etc. to Japan are transported through third countries, the exported meat, etc. to Japan shall be put in a tight container. The container shall be sealed by the animal health authorities of Chile with the seal which is apparently identified. The form of the seal shall have been approved in advance by the Japanese animal health authorities. In case the said seal has been broken or dropped out, etc. at the time of inspection after arrival in Japan, the exported meat, etc. to Japan in question might be prohibited to be released into Japan.

11 In case that FMD, Rinderpest or ASF occur in Chile, the animal health authorities of Chile should immediately suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan. The exported meat, etc. to Japan which is on the way to Japan shall be prohibited to be released into Japan, except the one which bears definitely no relation to the outbreak of the said diseases.

12 In case of an outbreak of FMD, Rinderpest or ASF in the third free countries, the government authorities of Chile immediately have to suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan from the designated facilities which handle cloven-hoofed animal and meat, etc. imported from the said third free countries and officially inform the Japanese animal health authorities of it. The exported meat products to Japan which are on the way to Japan could be prohibited to be released into Japan, except the one which bears definitely no relation to the occurrence of the said diseases.

13 The suspension measures of the shipment of the exported meat, etc. to Japan in item 12 could be released either in case the Japanese animal health authorities have confirmed that the third free countries concerned are free from the said diseases, or in case the government authorities

of Chile have stopped cloven-hoofed animals and the meat, etc. imported from the third free countries concerned from being brought into the facilities and have informed the animal health authorities of the said suspension.

14 The animal health authorities of Chile shall inform the Japanese animal health authorities of incidence of animal infectious diseases (including FMD, Rinderpest, ASF, BSE and Scrapie) by monthly report or by other periodicals.

(Issue of inspection certificate)

15 The animal health authorities of Chile shall be responsible for issuing inspection certificate for the exported meat, etc. to Japan, stating the following items detail in English;

(1) Each requirement of items from 1, 2, 4 to 7 (In case the exported meat, etc. to Japan originates from the cloven-hoofed animals and/or the meat, etc. directly imported to Chile from the third free countries, the name of third free countries and the requirements in items from 1-① to 1-④ and/or 2-① to 2-④ in Annex 1 should be also stated.)

(2)

(3) The requirements in item 9 for the sheep/goat meat, etc.

(4) Name, address and registration number of the designated facilities (in case slaughtering, processing and storing, etc. have not been done at the same designated facilities, each of the facilities at which the exported meat, etc. to Japan have been handled shall be described on the certificate.)

(5) Date, authorities name and place of issue of the inspection certificate, and name and title of signer.

(6) Identification number of the seal sealing up the container, etc. (in case the transporting container, etc. is sealed up with the seal according to item 10).

Annex 1.

Requirements for designated facilities

1 Cloven-hoofed animals which can be handled at the designated facilities shall have been born and raised only in Chile, or shall have been directly imported to Chile from the third free countries meeting all of the following requirements in items from ① to ④.

① The said animals shall have been born and raised only in the third free countries.

② The said animals shall have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of export inspection conducted by the animal health authorities of the third free countries.

③ The said animals shall have been directly imported to Chile from the third free countries, and shall have been accompanied with the inspection certificate issued by the government authorities of the third free countries, and shall not have been transported through other countries than the third free countries concerned.

④ The said animals shall have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the animal health authorities of Chile.

2 The meat, etc. which can be handled at the designated facilities, shall originate from the cloven-

hoofed animals which have been born and raised only in Chile, and shall have been handled only at the designated facilities in Chile, or shall have been directly imported to Chile from the third free countries meeting all of the following requirements in the items from ① to ④.

- ① The meat, etc. shall have been derived from the cloven-hoofed animals which have been born and raised only in the third free countries.
- ② The meat, etc. shall have been derived from the cloven-hoofed animals which have been free from any evidence of infectious diseases as a result of ante- and post-mortem inspection conducted by the government veterinarians of the third free countries at the designated facilities.
- ③ The meat, etc. shall have been directly imported to Chile from the third free countries, and shall have been accompanied with the inspection certificate issued by the animal health authorities of the third free countries, and shall not have been transported through other countries than the third free countries concerned.
- ④ The meat, etc. shall have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the animal health authorities of Chile, and shall have been directly carried into the designated facilities in Chile after the said inspection.

3 The species, quantities, production areas and date of handling as to cloven-hoofed animals and the meat, etc. which have been handled at the designated facilities (in case of handling the ones imported from the third free countries, the name of exporting countries shall be also required.) shall be recorded on the original records. The original records shall be kept for at least two years at the designated facilities.

4 The animal health authorities of Chile shall inform the Japanese animal health authorities of the name, address, registration number of the designated facilities in advance.

5 The government veterinarians of Chile shall confirm by residence or periodic patrols that the designated facilities meet the requirements in items from 1 to 3. If the designated facilities do not meet the requirements in items from 1 to 3, the animal health authorities of Chile should immediately revoke the designation of the said facilities and should inform the Japanese animal health authorities of the name, etc. of the said facilities, and should suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan.

(On-site inspections conducted by animal quarantine officer of Japan)

6 The animal quarantine officer of Japan can be empowered to make on-site inspections of the designated facilities and to make investigation of the original records. When the said animal quarantine officer finds the fact that the said animal health requirements have not been met, the said animal quarantine officer can suspend the shipment of the exported meat, etc. to Japan.

Annex 3.

Requirements for BSE

for cattle

- 1) the disease is compulsorily notifiable;
- 2) affected cattle are killed and completely destroyed;
- 3) suspect heifers or cows close to calving are isolated;
- 4) an effective and continuous surveillance and monitoring system is practiced in accordance with Article 3.2.13.1. of OIE International Animal Health Code;
- 5) the cattle were born after the feeding of meat-and-bone meal from ruminants to ruminants has been banned and effectively enforced, or have never been fed ruminant meat-and-bone meal, and were born, raised and had remained in a herd in which no case of BSE had ever been confirmed, and which contains only cattle born on the farm or coming from a herd of equal status; and
- 6) the cattle are identified by a permanent mark enabling them to be traced back to the dam and herd of origin.

for meat from cattle

- 1) the cattle from which the meat originates fulfill all the items above;
- 2) ante mortem inspection is carried out on all bovines;
- 3) the tissues of brains, eyes, spinal cord, tonsils, thymus, spleen and distal ileum are removed from all cattle at slaughter and destroyed; and
- 4) nervous and lymphatic tissues exposed during the cutting process have been removed and destroyed.

Annex 4.

Requirements for SCRAPIE

for sheep/goat

The sheep/goat were born, raised and had remained in a herd in which no case of SCRAPIE had ever been confirmed, and which contains only sheep/goat born on the farm or coming from a herd of equal status.

for meat from sheep/goat

The meat originates from the sheep/goat that fulfill all the items above.

Requirements for the pig meat etc.

- 1 The pig meat, viscera and such meat products as sausage, ham and bacon to be exported to Japan from Chile (hereinafter referred to as “ the exported pig meat etc. ”), shall be subject to the following additional requirements with regard to Classical Swine Fever (hereinafter referred to as “ CSF ”):
 - (1) Chile is free from CSF.
 - (2) In Chile, vaccination against CSF is prohibited.
 - (3) In Chile, importation of pigs vaccinated against CSF is prohibited.

(Requirements for pigs or pig meat etc. from the third free country)

- 2 If pigs or pig meat, viscera and such meat products as sausage, ham and bacon (hereinafter referred to as “ pig meat etc. ”) from a third free country is used for the production of the exported pig meat etc. shall be accompanied by a certificate of the authorities of Chile attesting item (1), (2) and (3) or (4) regard to CSF.
 - (1) A third free country (zone) is free from CSF.
 - (2) In a third free country (zone), vaccination against CSF is prohibited.
 - (3) In a third free country (zone), importation of pigs vaccinated against CSF is prohibited.

OR

- (4) The pig meat etc. used for the production of the exported pig meat etc. was derived from pigs subjected to ante-and post-mortem without any evidence of CSF and not vaccinated against CSF and was processed in a way to ensure the destruction of CSF virus in the third free countries.

Zone is CSF free zone without vaccination against CSF established in a free country (as per attached ANNEX 2) where the CSF infection is still present and/or vaccination against CSF still remains.

The zone in a third free country is recognized by Japanese animal health authorities based on the on-site investigation.

(Requirements in case of an outbreak of CSF)

- 3 In case of an outbreak of CSF in Chile, the government authorities of Chile immediately have to inform the Japanese animal health authorities of the outbreak, and 6 months or more after the completion of necessary measures for the last case notify the completion to the Japanese animal health authority

日本向けに輸出されるケーシングを使用した食肉等の追加条件

日本向けに輸出される食肉等について、ケーシングが使用されている場合、当該ケーシングについては、次に掲げる要件を満たすものでなければならない。

牛、めん羊及び山羊のケーシングが使用されている場合

- 1 ケーシングは、別添に掲げる国以外の国で生まれ、かつ、飼養された動物に由来するものであること。
- 2 ケーシングは、輸出国の政府機関の検査官が行うと殺の前後の検査により、家畜の伝染性疾病に感染しているおそれのないことが確認されたものであること。また、第3国から輸入したケーシングの場合には、輸入検査により、家畜の伝染性疾病に感染しているおそれのないことが確認されたものであること。
- 3 ケーシングは、上記(1)及び(2)の要件を満たすケーシングのみを取り扱う施設として、輸出国の政府機関の認定を受けた施設(以下「認定ケーシング施設」という。)で取り扱われたものであること(第3国から輸入したケーシングを使用して食肉等を生産している場合には、当該食肉等の認定加工等施設に対し本規定を適用する。)
- 4 輸出国家畜衛生当局は、認定ケーシング施設の名称、所在地及び認定番号を事前に日本国家畜衛生当局に通知すること。
- 5 ケーシングを用いた食肉等の日本向け輸出に当たって、輸出国家畜衛生当局は、次の各事項を具体的に記載した英文による検査証明書を発行すること。
 - 1) 上記1及び2の事項
 - 2) ケーシングの種類(天然、人工)、ケーシングの原産国名(ケーシング由来動物の出生及び飼養国名)、動物種名
 - 3) 認定ケーシング施設の名称、所在地及び認定番号

別添

豚のケーシングが使用されている場合

- 1 ケーシングは、輸出国の政府機関の検査官が行うと殺の前後の検査により、家畜の伝染性疾病に感染しているおそれのないことが確認されたものであること。また、第3国から輸入したケーシングの場合には、輸入検査により、家畜の伝染性疾病に感染しているおそれのないことが確認されたものであること。
- 2 ケーシングを用いた食肉等の日本向け輸出に当たって、輸出国家畜衛生当局は、次の各事項を具体的に記載した英文による検査証明書を発行すること。
 - 1) 上記1の事項
 - 2) ケーシングの種類（天然、人工）、ケーシングの原産国名（ケーシング由来動物の出生及び飼養国名）

Additional animal health requirements for the meat products using casings
to be exported to Japan from the exported country

In case the meat products to be exported to Japan uses casings, the casings must satisfy the following requirements.

In case the casings are derived from cattle, sheep and goat;

1 The casings are derived from animal which was born and raised in the countries other than the countries listed in Annex.

2 It has to be confirmed that the casings are free from any animal infectious diseases as a consequence of ante- and post-mortem inspections conducted by official inspectors of national government of the exported country.

In case the casing for the production of exported meat products are imported from the third countries, the casing must have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the exported country.

3 Casings have been handled only at the facilities approved (hereinafter referred to as “approved casing facilities”) by the national government of exported countries as the ones which handle only casings prescribed in item 1 and 2.(In case the casings are imported from the third countries, this provision must apply to the meat processing facilities in the third countries.)

4 The animal health authorities of the exported country must inform the Japanese animal health authorities of the name, address, registration number of the approved casing facilities in advance.

5 The animal health authorities of the exported country must issue inspection certificates for the exported meat products using casing to Japan, stating the following items in English:

1) Item 1 and 2

2) The kind of casings (natural or artificial), country of origin and animal species of origin

3) Name, address and registration number of approved casing facilities

In case the casings are derived from pig;

1 It has to be confirmed that the casings are free from any animal infectious diseases as a consequence of ante- and post-mortem inspections conducted by official inspectors of national government of the exported country.

In case the casings for the production of exported meat products are imported from the third countries, the casing must have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the exported country.

2 The animal health authorities of the exported country must issue inspection certificates for the exported meat products using casing to Japan, stating the following items in English:

1) Item 1

2) The kind of casings (natural or artificial), country of origin

Annex

日本向けに輸出されるケーシングを使用した食肉等の追加条件

日本向けに輸出される食肉等について、ケーシングが使用されている場合、当該ケーシングについては、次に掲げる要件を満たすものでなければならない。

牛、めん羊及び山羊のケーシングが使用されている場合

- 1 ケーシングは、別添に掲げる国以外の国で生まれ、かつ、飼養された動物に由来するものであること。
- 2 ケーシングは、輸出国の政府機関の検査官が行うと殺の前後の検査により、家畜の伝染性疾病に感染しているおそれのないことが確認されたものであること。また、第3国から輸入したケーシングの場合には、輸入検査により、家畜の伝染性疾病に感染しているおそれのないことが確認されたものであること。
- 3 ケーシングは、上記(1)及び(2)の要件を満たすケーシングのみを取り扱う施設として、輸出国の政府機関の認定を受けた施設(以下「認定ケーシング施設」という。)で取り扱われたものであること(第3国から輸入したケーシングを使用して食肉等を生産している場合には、当該食肉等の認定加工等施設に対し本規定を適用する。)
- 4 輸出国家畜衛生当局は、認定ケーシング施設の名称、所在地及び認定番号を事前に日本国家畜衛生当局に通知すること。
- 5 ケーシングを用いた食肉等の日本向け輸出に当たって、輸出国家畜衛生当局は、次の各事項を具体的に記載した英文による検査証明書を発行すること。
 - 1) 上記1及び2の事項
 - 2) ケーシングの種類(天然、人工)、ケーシングの原産国名(ケーシング由来動物の出生及び飼養国名)、動物種名
 - 3) 認定ケーシング施設の名称、所在地及び認定番号

別添

豚のケーシングが使用されている場合

- 1 ケーシングは、輸出国の政府機関の検査官が行うと殺の前後の検査により、家畜の伝染性疾病に感染しているおそれのないことが確認されたものであること。また、第3国から輸入したケーシングの場合には、輸入検査により、家畜の伝染性疾病に感染しているおそれのないことが確認されたものであること。
- 2 ケーシングを用いた食肉等の日本向け輸出に当たって、輸出国家畜衛生当局は、次の各事項を具体的に記載した英文による検査証明書を発行すること。
 - 1) 上記1の事項
 - 2) ケーシングの種類（天然、人工）、ケーシングの原産国名（ケーシング由来動物の出生及び飼養国名）

Additional animal health requirements for the meat products using casings
to be exported to Japan from the exported country

In case the meat products to be exported to Japan uses casings, the casings must satisfy the following requirements.

In case the casings are derived from cattle, sheep and goat;

1 The casings are derived from animal which was born and raised in the countries other than the countries listed in Annex.

2 It has to be confirmed that the casings are free from any animal infectious diseases as a consequence of ante- and post-mortem inspections conducted by official inspectors of national government of the exported country.

In case the casing for the production of exported meat products are imported from the third countries, the casing must have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the exported country.

3 Casings have been handled only at the facilities approved (hereinafter referred to as “approved casing facilities”) by the national government of exported countries as the ones which handle only casings prescribed in item 1 and 2.(In case the casings are imported from the third countries, this provision must apply to the meat processing facilities in the third countries.)

4 The animal health authorities of the exported country must inform the Japanese animal health authorities of the name, address, registration number of the approved casing facilities in advance.

5 The animal health authorities of the exported country must issue inspection certificates for the exported meat products using casing to Japan, stating the following items in English:

1) Item 1 and 2

2) The kind of casings (natural or artificial), country of origin and animal species of origin

3) Name, address and registration number of approved casing facilities

In case the casings are derived from pig;

- 1 It has to be confirmed that the casings are free from any animal infectious diseases as a consequence of ante- and post-mortem inspections conducted by official inspectors of national government of the exported country.

In case the casings for the production of exported meat products are imported from the third countries, the casing must have been free from any evidence of animal infectious diseases as a result of import inspection conducted by the exported country.

- 2 The animal health authorities of the exported country must issue inspection certificates for the exported meat products using casing to Japan, stating the following items in English:

- 1) Item 1
- 2) The kind of casings (natural or artificial), country of origin

Annex